

「産婦人科と血液に興味があるなら間違いなく楽しいですよ！」

浜松医科大学産婦人科 小田 智昭 (学会幹事・評議員)

若手の先生方、これからどんな医師になっていこうか悩んでいるんじゃないでしょうか？初期研修終了後は産婦人科専門医がひとつの目標だと思いますが、そこから周産期、婦人科腫瘍・内視鏡、生殖、ヘルスケアのサブスペシャリティに進んだり、開業したり、行政に関わったり、それぞれの考え方で人生を過ごしていくのでしょうか。今は「自分の専門分野を何にしようか」、「どんな認定医・専門医を取りたいか or 取らなくてはならないか」と考える一方、長期的に「将来どんな先輩医師となっているのか or なっていないか」、「どんなポストに就いていきたいか」と考えている先生は多いと思います。ほとんどの先生方は産婦人科専門医を取ってからの産婦人科人生の方が長いので、自分の生き方について「こうしなければならない」、「こうなっているべきだ」という考え方ばかりではおもしろくないですよ。仕事でも自分が楽しいこと、興味があることをひとつ決めて続けていくのは長い産婦人科人生を過ごすためには大事です。

私の場合はそれが「血液」です。「産婦人科」と「血液」は切っても切り離せない関係です。私は臨床現場と医学研究で血液凝固異常について考えたり調べたりするのが好きです。それが高じて現在（2022年11月）海外留学しています。でも好きなこと、興味があることって志を同じくする仲間と語りたいものです。日本産婦人科・新生児血液学会は産婦人科の中でもマイナーな学会で、あまり聞いたことがないですよ。本学会からは認定医、専門医を提供していません。その代わりに、ここは産婦人科、小児科の医師たちが臨床現場で直面した症例、興味のある研究テーマを「血液」の共通キーワードで大いに語らい、議論する学会です。凝固カスケードを覚えていなくても、貧血の鑑別が苦手でも問題ありません。「とりあえず形から入る」のも大事です。ぜひ一緒に語らしましょう。